

5・6月の主な奈留高校の行事

5月9	水	中間考査（～11日）
12	土	土曜学習会②
13	日	PTA・体育文化後援会総会
19	土	就職・看護模試
30	水	高総体社行式
6月2	土	長崎県高総体（～4日）
16	土	県一斉模試（2・3年）
19	火	「奈留っこの心を見つめる週間」（～26日）
28	木	期末考査（～7/3）

PTA・体育文化後援会総会
開催のお知らせ

期日 五月十三日（日）
時間 午後一時～
場所 奈留高校体育館

※公開授業（一二時一〇分～）が開催されます。
※保護者向け携帯電話講習会も開催いたします。

学年だより

早いもので、入学してから一月が過ぎました。この一月は「新入生研修」「部活動編成」「合同歓迎遠足」など、生活の変化に対応することで精一杯だったのではないでしょう。明日からはいよいよ中間考査が始まります。高校生として、苦しい状況でも乗り越えるのか、一人一人の結末に期待をします。



二年生に進級し、学習や部活動、生活の面で「何かを変えなければ」という危機感や前向きなエネルギーを持った生徒が多くなりました。奈留高校の中学生が実り多いものになるよう指導して参りますので、ご家庭におかれましてはご理解、ご協力をお願いいたします。



いよいよ「勝負の年」となりました。三年生全員の進路実現を目標に、生徒・教職員一丸となって突き進んでいきたいと思えます。生徒諸君は、まずは中間考査で好成绩を収めるよう、学習面の充実を図ってください。「奈留島の最高学年」として、後輩たちの模範となれるよう、一緒に頑張ってくださいませう。



校長室から



小林 勝

教育の島「奈留島」ここにあり

私の大好きな光景の一つに、高校玄関前の渡り廊下から見える小中学校のグラウンドがあります。ただし、時間限定で昼休みだけです。小学生が、寒い冬も暑い夏の日も、元気に走り回っています。校長の業務に疲れた（？）心を癒すには、最高の風景です。

小中高一貫教育が正式に始まって、この三月で丸四年が経過しました。体育大会をはじめとする合同行事や教職員ソフトボールチームなど奈留島を代表する存在として島民の皆さまに認知していただいているものと感じています。また肝心の教育活動も様々の取り組みと教職員の交流の深まりとともに、年々充実度を増してきました。

その成果として、今春の卒業生は素晴らしい進路実績を収めてくれました。詳しい内容は奈留港ターミナルにも掲示させていただいておりますが、奈留高校初めてとなる九州大学、そして長崎大学等の大学、公務員、看護学校、一般就職と多くの生徒諸君が、自らの目標とする進路を達成してくれました。まさに「夢・実現」です。最近、全国の公立学校で「小中連携」「中高連携」が積極的に進められるようになってきています。ある県では、保育園から大学までの連携を始めたとの記事も目にしました。それぞれの取り組みはたいへん興味深く、参考になります。その反面、奈留地区小中高一貫教育に勝る教育環境はないようにも感じています。小中と高校一校ずつの連携であること、隣り合った敷地にあること、地域の皆様の強い支えがあること、教職員の交流が盛んであることなどその要因

を挙げればきりがありません。そしてこの奈留地区一貫教育は、今後さらに大きく発展していく可能性を秘めています。密な連携と地域力、少人数の三本柱で、全国にも類を見ないような理想的な小中高一貫教育が実践できるといえる可能性です。「日本の西の果ての小さな島に、こんなにも素晴らしい『日本一の教育』が存在した」とそんなテレビのドキュメント番組が制作されても、不思議ではありません。そして、孟母三遷のたとえではありませんが、自分の子供に理想の教育を受けさせたいと願う母親が、この奈留島に押し寄せてくる日がやってくるかもしれません。そのための第一歩として、今年から本格的に島外の生徒募集活動を始めることになりました。まずは、小さな一歩からです。

奈留高職員
ペンリレー

『フルマラソン物語』

入口 彰太



私の趣味はマラソンです。マラソンと出会ったのは七年前です。私が教員になって初めて赴任した高校で、ある先生がおっしゃっていた言葉です。「教師が頑張っていないのに、生徒たちに頑張れとは言えない。だから自分に試練を与えるためにも、マラソンを走っているんだ。」その言葉を機に今まで一回弱マラソンに出場し、タイムも順調に短縮できています。マラソンという競技は若者が速いというわけではありません。時間を見つけて日々練習に取り組んできたお年寄りに若者が抜かれるという場合が多くあります。レース中、私は七〇代のおじいさんと併走しましたが、最後になって差を広げられました。日々の鍛錬がいかに大切か思い知らされました。コツコツと取り組むことが、やがて大きな成果となって自分に返ってきます。もちろん、勉強も同じです。日々コツコツと努力してきた者には誰も勝つことは出来ません。進路実現のために一緒に頑張りましょう。Many a little makes a mickle.